

## 目標達成計画

事業所名 グループホーム たんぽぽ札幌新道東

作成日： 令和 2 年 3 月 26 日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	18	【本人と共に過ごし支え合う関係】 利用者様が介護する、介護される関係性ではなく、職員が暮らしを共にし、安心できる関係作りに努めております。	職員と利用者様が、暮らしを共に安心して生活ができる	職員と利用者様が信頼関係を築くため、コミュニケーションをとることを初め、対応方法を含めた研修を重ね、落ち着いて安心して過ごすことができるように行う	
2	23	【思いや意向の把握】 日々、利用者様と関わる中で本人の思いや考え方を理解し、アセスメントシートを活用し、職員同士が情報共有を行い、利用者様本位なケアが出来るように展開をしております。	日々対応方法が異なることもあるため、随時適切なケアを行う	その日その日で、体調の変化などで対応方法が異なることもある為、全職員が全利用者様を観察し、いつもと違うことがあれば、情報共有が出来るようにアセスメントに記載し、利用者様本位なケアを行うことが出来るように、主治医や訪問看護師、管理者、計画作成担当者を始め、適切なケアを行うように研修を行う	
3	36	【一人ひとりの尊重とプライバシーの確保】 一人ひとりの人格を尊重し、人生の先輩であることを忘れずに言葉掛けに心がけております。ともに暮らす者同士親し気な言葉掛けになることもありますが、研修などを取り組んでこれからのケアに活かしたいです。	言葉遣いが、親し気な言葉ではなく、尊敬や尊重できる言葉遣いを行う	全職員が、施設内外で接遇マナーなどの研修を行い、適切な接遇が出来るように取り組み、全職員が振り返りシートをもとに、何が出来ていないのかを評価し、研修を行う。	
4	38	【日々のその人らしい暮らし】 職員本位の都合の行動してしまいがちですが、利用者様本位で行うとともに、利用者様一人ひとりのペースを大切に、希望に沿った生活が出来るように心がけて、支援をしております。	利用者様のペースで、希望に沿ったケアが行えるように支援する	全職員が、利用者様ケアにするにあたって、同一ケアが出来るように、アセスメントシートの活用し、日々変わるケアの方法を情報共有を行い、振り返りシートなどの活用し、同一ケアが出来るようにする	
5	3	【事業所の力を活かした地域貢献】 現状としては実施に至っていないが今後の課題として地域機向けに介護教室など様々な方法で、地域の方々に認知症の理解を深め、事業所として役割を果たすことができるように立案し、実現に向けた動きをしたい。	地域向けに認知症の勉強会などを含めた集いを開催する	自治会の方との懇談会を繰り返し、利用者様が地域で暮らす意味を理解して頂き、認知症の勉強会を開催したり、認知症サポーターキャラバンの参加を促しを行ったりとすることで、利用者様と地域が一体でともに暮らすことが出来るようにする。	

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。